

大草谷津田いきものの里「自然観察会」

トンボ博士になれるかな？

木下順次（千葉市）

日 時：2015年5月17日（日）10時30分～12時、天候：晴れ

参加者：大人8名 子ども7名

担当指導員：石嶋基次・木下順次

2013年から5月の第3週はシオヤトンボをテーマに観察会を行っています。私が担当するのは昨年に引き続き2回目です。大草谷津田いきものの里では、毎年8月から9月にかけてオニヤンマがたくさん見られますが、GW明けのこの時期にはシオヤトンボがたくさん見られます。4月の下旬ごろから、すでにトンボが飛んでいると聞くと参加者の皆さんにはびっくりします。

気温も23度と高く、絶好のトンボ日和ですが、まずは谷津田に出るまでの林の中で、いろいろな植物やムシをランダムに見つかるままに解説していきます。カタバミの葉で10円磨きをしたり、ザトウムシとクモの違いを観察したり、ヤマガラの鳴き声に耳を傾けたり。大草の一時間半は本当にあつという間で、本日のテーマ、トンボ観察エリアである谷津田の四つ辻に行き着く前に30分もたってしまいました。田植え直前の水を張った田んぼに出てトンボが見え始めると子どもたちは捕まえたくてうずうずしているようです。♂♀の見分け方や生態、捕まえ方などを説明した後、いよいよ捕虫網で捕まえてもらいます。

毎年捕獲したトンボは種類、雌雄、体長を記録し、重複してカウントしないよう、羽にマークングをして放してやります。シオヤトンボがほとんどで、昨年一昨年と、♂の数が♀を圧倒しています。その理由もあれこれ推測しながら、みんなでトンボ捕りを楽しみました。

シュレーゲルアオガエルの卵塊やアマガエルの赤ちゃん（？）など様々な初夏の自然観察もあわせて参加者の興味の赴くままに行い、最後は事前に捕っておいたやオニヤンマのヤゴ（2歳、終齢）やサワガニを観察して締めくくりとしました。

今年は、ヤゴの数が少なく、水路の砂の堆積や雑草処理の状況の影響だろうかと推測しています。いきものの住みやすい環境づくりの難しさを実感しますが、8～9月のオニヤンマの回で再度確認していきたいと考えています。



		2013年	2014年	2015年
		5月19日	5月18日	5月17日
		晴	快晴	晴
シオヤトンボ	♂	7	12	12
	♀	4	2	2
	計	11	14	14
シオカラトンボ	♂	1	1	2
	♀	2		
	計	3	1	2
		14	15	16